

4-10. 公園

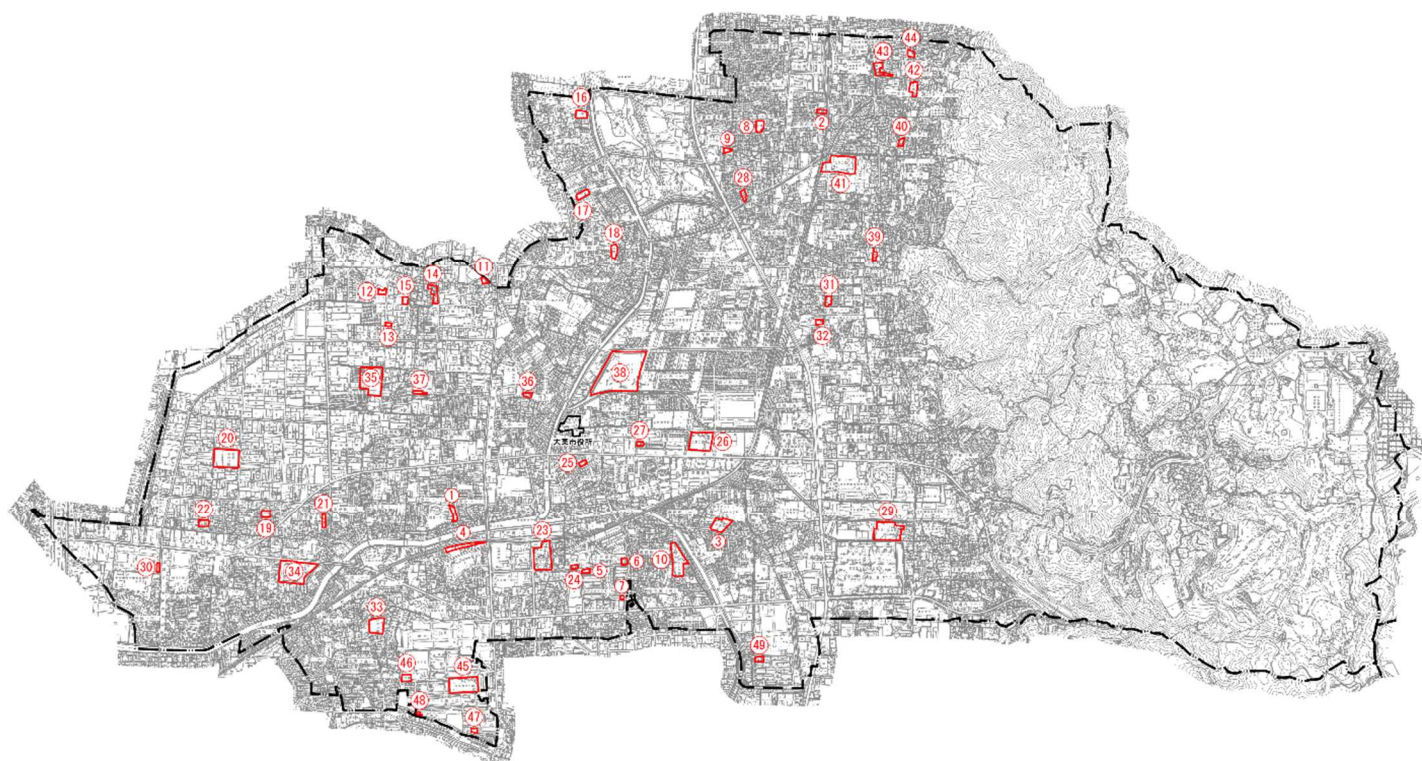
(1) 対象施設一覧

	施設名称	現在の運営主体	棟名	構造	延床面積 (㎡)	建築年	築年数	供用開始年	供用年数
10-1	赤井公園	直営	トイレ	RC	10.00	2002	19	1969	52
10-2	明美の里公園	直営	-	-	-	-	-	1986	35
10-3	泉公園	直営	トイレ	RC	9.00	2005	16	1974	47
10-4	大野公園	直営	-	-	-	-	-	1999	22
10-5	川中新町西公園	直営	-	-	-	-	-	1980	41
10-6	川中新町東公園	直営	-	-	-	-	-	1983	38
10-7	川中新町南公園	直営	-	-	-	-	-	1983	38
10-8	楠の里公園	直営	-	-	-	-	-	2014	7
10-9	西楠の里公園	直営	-	-	-	-	-	1968	53
10-10	御供田公園	直営	トイレ	RC	19.80	2000	21	1983	38
10-11	御領公園	直営	-	-	-	-	-	1983	38
10-12	御領池河公園	直営	-	-	-	-	-	2000	21
10-13	御領見持公園	直営	-	-	-	-	-	2000	21
10-14	御領みのり公園	直営	-	-	-	-	-	2001	20
10-15	御領宮西公園	直営	-	-	-	-	-	2000	21
10-16	三箇第1公園	直営	トイレ	CB	6.30	2012	9	2012	9
10-17	三箇第2公園	直営	トイレ(和式)	S	4.00	2009	12	2009	12
			トイレ(多目的)	S	5.00	2016	5		
10-18	三箇第3公園	直営	トイレ	RC	10.00	2001	20	1984	37
10-19	新田公園	直営	トイレ	RC	10.00	2002	19	1966	55
10-20	新田中央公園	直営	トイレ	S	14.00	2019	2	1966	55
			防災備蓄倉庫	S	1,779.00	2020	1		
10-21	新田東公園	直営	-	-	-	-	-	1973	48
10-22	新田南公園	直営	トイレ	RC	8.40	2004	17	1966	55
10-23	末広公園	直営	トイレ	RC	17.04	2005	16	2005	16
			倉庫	RC	25.00	2013	8		
			ステージメント	S	128.00	2020	1		
10-24	新町第3公園	直営	-	-	-	-	-	1996	25
10-25	南の子公園	直営	-	-	-	-	-	1966	55
10-26	大東公園	直営	トイレ	RC	17.00	2003	18	1968	53
10-27	マウンドパーク谷川公園	直営	-	-	-	-	-	2004	17
10-28	津の辺公園	直営	-	-	-	-	-	1983	38
10-29	中垣内浜公園	直営	トイレ	S	14.00	2020	1	2017	4
10-30	西諸福公園	直営	-	-	-	-	-	1984	37
10-31	野崎中公園	直営	トイレ	S	14.00	2019	2	1969	52
10-32	野崎南公園	直営	-	-	-	-	-	1970	51
10-33	東諸福公園	直営	管理棟(トイレ含む)	RC	209.00	2006	15	2006	15
10-34	灰塚公園	直営	トイレ	RC	15.64	2011	10	1970	51
10-35	南郷公園	直営	管理棟(トイレ含む)	RC	311.00	1999	22	1999	22
10-36	氷野公園	直営	-	-	-	-	-	1983	38
10-37	グリーンデパーク氷野	直営	-	-	-	-	-	2002	19
10-38	大東中央公園	直営	管理棟(トイレ含む)	RC	659.00	2013	8	2013	8
10-39	壱の坪公園	直営	-	-	-	-	-	1980	41
10-40	笠神公園	直営	-	-	-	-	-	1974	47
10-41	北条公園	直営	トイレ	RC	34.10	2002	19	1969	52
10-42	飯盛公園	直営	-	-	-	-	-	1983	38
10-43	鎌池公園	直営	-	-	-	-	-	2020	1
10-44	嵯峨公園	直営	-	-	-	-	-	1970	51
10-45	朋来中央公園	直営	-	-	-	-	-	2014	7
10-46	朋来西公園	直営	-	-	-	-	-	1969	52
10-47	朋来第1公園	直営	-	-	-	-	-	1996	25
10-48	朋来よつば公園	直営	-	-	-	-	-	2017	4
10-49	南新田公園	直営	-	-	-	-	-	1980	41

※構造：SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、RC：鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、LS：軽量鉄骨造、CB：コンクリートブロック造、W：木造

(2) 位置図

No.	施設名	No.	施設名
1	赤井公園	26	大東公園
2	明美の里公園	27	マウンドパーク谷川公園
3	泉公園	28	津の辺公園
4	大野公園	29	中垣内浜公園
5	川中新町西公園	30	西諸福公園
6	川中新町東公園	31	野崎中公園
7	川中新町南公園	32	野崎南公園
8	楠の里公園	33	灰塚公園
9	西楠の里公園	34	東諸福公園
10	御供田公園	35	南郷公園
11	御領公園	36	氷野公園
12	御領池河公園	37	グリーンディパーク氷野
13	御領見持公園	38	大東中央公園
14	御領みのり公園	39	壱の坪公園
15	御領宮西公園	40	笠神公園
16	三箇第1公園	41	北条公園
17	三箇第2公園	42	飯盛公園
18	三箇第3公園	43	鎌池公園
19	新田公園	44	嵯峨公園
20	新田中央公園	45	朋来中央公園
21	新田東公園	46	朋来西公園
22	新田南公園	47	朋来第1公園
23	末広公園	48	朋来よつば公園
24	新町第3公園	49	南新田公園
25	南の子公園		



(3) 個別施設について

1) 赤井公園

① 施設概要

施設名	赤井公園			供用開始年(西暦)	1969	No.	10-1		
施設分類	公園			運営形態	直営				
所在地	赤井3丁目124			地区(中学校区)	南郷中学校区				
所管部	街づくり部			所管課	みどり課				
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種住居地域				
土地合計面積	2,309㎡			所有区分	土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-			
	うち車椅子	0		具体的内容	-				
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考	
トイレ	RC	1	10.00	2002	対象外	-	-	-	
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況	浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0~2.0m未満				
	土砂災害区域指定状況			無	-				
避難所等の指定有無	無	-							

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-1	棟名	現況評価		
赤井公園	公園全体	供用年数	52年	
		劣化状況	A 健全	0/4
			B 経過観察	2/4
			C 部分修繕が必要	2/4
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	トイレ	出入口自動ドア	-	
		築年数	19年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
C 深刻な不具合がある。	0/22			
バリアフリー	トイレ	未対応		
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-1	棟名	評価結果		
赤井公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点		1.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		C	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：対象項目すべて対応済 3点：(評価対象無し) 2点：(評価対象無し) 1点：対象項目すべて未対応
平均点		2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	

③ 施設の立地状況把握

10-1	立地状況			
赤井公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-1	赤井公園	-	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比

・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-1	赤井公園	2017年度	0	0	113	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	91	0	0	127	0	0
		2019年度	0	0	121	0	0	132	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-1	赤井公園										
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)				C		建物性能ランク(トイレ)				B
	建設から52年(トイレは19年)が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は増加傾向です。										
実施計画 ※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	
	遊具更新 ----->		トイレ 築20年 経過								
・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 ・園内トイレは、2022年に築年後20年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。											

2) 明美の里公園

① 施設概要

施設名	明美の里公園			供用開始年(西暦)	1986	No.	10-2	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	明美の里町421-2			地区(中学校区)	深野中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	1,105㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		無	-			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-2	棟名	現況評価		
明美の里公園	公園全体	供用年数	35年	
		劣化状況	A 健全	0/4
			B 経過観察	3/4
			C 部分修繕が必要	1/4
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-2	棟名	評価結果		
明美の里公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	2	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点: ほとんどの遊具が健全 3点: 半数以上の遊具が経過観察 2点: 一部の遊具で部分修繕が必要 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点: 対象項目すべて対応済 3点: 対象項目の中、1項目のみ未対応 2点: 対象項目の中、2項目未対応 1点: 対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を越える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-2	立地状況			
明美の里公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-2	明美の里公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-2	明美の里公園	2017年度	0	0	24	0	0	124	0	0
		2018年度	0	0	102	0	0	127	0	0
		2019年度	0	0	142	0	0	132	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-2	明美の里公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）		C							
	建設から35年が経過している									
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は増加傾向です。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
					再整備事業					
	----->									
	・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。									

3) 泉公園

① 施設概要

施設名	泉公園			供用開始年(西暦)	1974	No.	10-3	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	泉町1丁目246-3			地区(中学校区)	住道中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	5,845㎡			所有区分	土地	市	建物	
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ	RC	1	9.00	2005	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-3	棟名	現況評価		
泉公園	公園全体	供用年数	47年	
		劣化状況	A 健全	0/7
			B 経過観察	7/7
			C 部分修繕が必要	0/7
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	トイレ	出入口自動ドア	-	
		築年数	16年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
C 深刻な不具合がある。	0/22			
バリアフリー	トイレ	未対応		
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-3	棟名	評価結果		
泉公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点		2.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：対象項目すべて対応済 3点：(評価対象無し) 2点：(評価対象無し) 1点：対象項目すべて未対応
平均点		2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	

③ 施設の立地状況把握

10-3	立地状況			
泉公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン レッドゾーン	-
		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-3	泉公園	-	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比

・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-3	泉公園	2017年度	0	0	96	0	0	173	0	0
		2018年度	0	0	76	0	0	178	0	0
		2019年度	0	0	99	0	0	185	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-3		泉公園									
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)	B				建物性能ランク(トイレ)				B	
	建設から47年(トイレは16年)が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画 ※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
					トイレ築20年経過						
・園内遊具の多くは大きな不具合は確認できません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。 ・園内トイレは、2025年に築年後20年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。											

4) 大野公園

① 施設概要

施設名	大野公園			供用開始年(西暦)	1999	No.	10-4	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	大野一丁目			地区(中学校区)	住道中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種住居地域			
土地合計面積	3,766㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-4	棟名	現況評価		
大野公園	公園全体	供用年数	22年	
		劣化状況	A 健全	0/4
			B 経過観察	0/4
			C 部分修繕が必要	4/4
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-4	棟名	評価結果		
大野公園	公園全体	評価項目	評価点	
		供用年数	3	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点: ほとんどの遊具が健全 3点: 半数以上の遊具が経過観察 2点: 一部の遊具で部分修繕が必要 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点: 対象項目すべて対応済 3点: 対象項目の中、1項目のみ未対応 2点: 対象項目の中、2項目未対応 1点: 対象項目の中、3項目以上未対応
		平均点	2.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

10-4	立地状況			
大野公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン	－	
		レッドゾーン	－	
	避難所等指定状況		指定避難所	－
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-4	大野公園	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-4	大野公園	2017年度	0	0	150	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	137	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	115	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-4	大野公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	建設から22年が経過している。									
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	遊具更新 ----->									
	・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。									

5) 川中新町西公園

① 施設概要

施設名	川中新町西公園			供用開始年(西暦)	1980	No.	10-5	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	川中新町551番			地区(中学校区)	住道中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	1,153㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-5	棟名	現況評価		
川中新町西公園	公園全体	供用年数	41年	
		劣化状況	A 健全	0/4
			B 経過観察	0/4
			C 部分修繕が必要	4/4
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-5	棟名	評価結果		
川中新町西公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	2	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-5	立地状況			
川中新町西公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-5	川中新町西公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-5	川中新町西公園	2017年度	0	0	57	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	50	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	59	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-5		川中新町西公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）	C									
	建設から41年が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	遊具更新 ----->										
					再整備事業						----->
<p>・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。</p> <p>・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。</p>											

6) 川中新町東公園

① 施設概要

施設名	川中新町東公園			供用開始年(西暦)	1983	No.	10-6	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	川中新町551-24			地区(中学校区)	住道中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	1,275㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-6	棟名	現況評価		
川中新町東公園	公園全体	供用年数	38年	
		劣化状況	A 健全	0/4
			B 経過観察	1/4
			C 部分修繕が必要	3/4
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-6	棟名	評価結果	
川中新町東公園	公園全体	評価項目	評価点
		供用年数	2
		劣化状況	1
		バリアフリー	-
	平均点	1.50	評価の考え方
	建物性能ランク	C	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上 4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当 4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応 築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均 A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

10-6	立地状況			
川中新町東公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-6	川中新町東公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-6	川中新町東公園	2017年度	0	0	59	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	50	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	57	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-6	川中新町東公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）		C							
	建設から38年が経過している。									
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	遊具更新 -----▶									
	・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。									

7) 川中新町南公園

① 施設概要

施設名	川中新町南公園			供用開始年(西暦)	1983	No.	10-7	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	川中新町551-29			地区(中学校区)	住道中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	500㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-7	棟名	現況評価		
川中新町南公園	公園全体	供用年数	38年	
		劣化状況	A 健全	0/3
			B 経過観察	0/3
			C 部分修繕が必要	3/3
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-7	棟名	評価結果		
川中新町南公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	2	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点: ほとんどの遊具が健全 3点: 半数以上の遊具が経過観察 2点: 一部の遊具で部分修繕が必要 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点: 対象項目すべて対応済 3点: 対象項目の中、1項目のみ未対応 2点: 対象項目の中、2項目未対応 1点: 対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-7	立地状況			
川中新町南公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	－	
避難所等指定状況		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-7	川中新町南公園	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出						
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)	
10-7	川中新町南公園	2017年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-7	川中新町南公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	C								
	建設から38年が経過している。									
性質等に応じた状況	—									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	遊具更新 -----▶									
	・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。									

8) 楠の里公園

① 施設概要

施設名	楠の里公園			供用開始年(西暦)	2014	No.	10-8	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	南楠の里町626-1			地区(中学校区)	深野中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種低層住居専用地域			
土地合計面積	2,552㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		無	-			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-8	棟名	現況評価		
楠の里公園	公園全体	供用年数	7年	
		劣化状況	A 健全	2/7
			B 経過観察	5/7
			C 部分修繕が必要	0/7
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

10-8	棟名	評価結果		
楠の里公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	3.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-8	立地状況			
楠の里公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	-
			レッドゾーン	-
			指定避難所	-
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-8	楠の里公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-8	楠の里公園	2017年度	0	0	23	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	23	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	23	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-8	楠の里公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	A								
	建設から7年が経過している。									
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030

9) 西楠の里公園

① 施設概要

施設名	西楠の里公園			供用開始年(西暦)	1968	No.	10-9	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	西楠の里町397-2			地区(中学校区)	深野中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	944㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-9	棟名	現況評価		
西楠の里公園	公園全体	供用年数	53年	
		劣化状況	A 健全	0/2
			B 経過観察	0/2
			C 部分修繕が必要	2/2
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-9	棟名	評価結果		
西楠の里公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-9	立地状況			
西楠の里公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン	-	
避難所等指定状況		レッドゾーン	-	
		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-9	西楠の里公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-9	西楠の里公園	2017年度	0	0	43	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	36	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	44	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-9	西楠の里公園									
建物性能の現況	建物性能ランク（公園全体）		C							
	建設から53年が経過している。									
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
					再整備事業					
	----->									
	・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。									

10) 御供田公園

① 施設概要

施設名	御供田公園			供用開始年(西暦)	1983	No.	10-10	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	御供田2丁目196			地区(中学校区)	住道中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	10,800㎡			所有区分	土地	市	建物	
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ	RC	1	19.80	2000	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況	浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5~1.0m未満			
	土砂災害区域指定状況			無	-			
避難所等の指定有無	有			一時避難場所				

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-10	棟名	現況評価		
御供田公園	公園全体	供用年数	38年	
		劣化状況	A 健全	0/14
			B 経過観察	7/14
			C 部分修繕が必要	7/14
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	トイレ	出入口自動ドア	-	
		築年数	21年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
C 深刻な不具合がある。	0/22			
バリアフリー	トイレ	未対応		
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-10	棟名	評価結果		
御供田公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
平均点	2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均		
建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）		

③ 施設の立地状況把握

10-10	立地状況			
御供田公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況	指定避難所	-		
	福祉避難所	-		
	一時避難場所	○		
	広域避難場所	-		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-10	御供田公園	-	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比

・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-10	御供田公園	2017年度	0	0	259	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	213	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	281	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-10	御供田公園										
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)				C		建物性能ランク(トイレ)				B
	建設から38年(トイレは21年)が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は増加傾向です。										
実施計画 ※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	トイレ築21年経過										
	遊具更新					再整備事業					
	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 ・園内トイレは、2021年に築年後21年を経過することになり、災害時の指定避難所にも指定されているため、今後、優先的に修繕等の検討を行う必要があります。 ・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。 										

11) 御領公園

① 施設概要

施設名	御領公園			供用開始年(西暦)	1983	No.	10-11	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	御領1丁目235-3			地区(中学校区)	南郷中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	準工業地域			
土地合計面積	1,005㎡			所有区分	土地	市	建物	
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-11	棟名	現況評価		
御領公園	公園全体	供用年数	38年	
		劣化状況	A 健全	0/3
			B 経過観察	0/3
			C 部分修繕が必要	3/3
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-11	棟名	評価結果	
御領公園	公園全体	評価項目	評価点
		供用年数	2
		劣化状況	1
		バリアフリー	-
	平均点	1.50	評価の考え方
	建物性能ランク	C	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上 4点: ほとんどの遊具が健全 3点: 半数以上の遊具が経過観察 2点: 一部の遊具で部分修繕が必要 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当 4点: 対象項目すべて対応済 3点: 対象項目の中、1項目のみ未対応 2点: 対象項目の中、2項目未対応 1点: 対象項目の中、3項目以上未対応 築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均 A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

10-11	立地状況			
御領公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	－
			レッドゾーン	－
			指定避難所	－
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-11	御領公園	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-11	御領公園	2017年度	0	0	31	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	27	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	32	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-11	御領公園									
建物性能の現況	建物性能ランク	C								
	建設から38年が経過している。									
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	遊具更新 ----->					再整備事業				
	----->									
<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 ・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。 										

1 2) 御領池河公園

① 施設概要

施設名	御領池河公園			供用開始年(西暦)	2000	No.	10-12	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	御領3丁目887			地区(中学校区)	南郷中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	工業地域			
土地合計面積	1,258㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-12	棟名	現況評価		
御領池河公園	公園全体	供用年数	21年	
		劣化状況	A 健全	-
			B 経過観察	-
			C 部分修繕が必要	-
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-12	棟名	評価結果		
御領池河公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	3	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-12	立地状況			
御領池河公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	－	
避難所等指定状況		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-12	御領池河公園	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-12	御領池河公園	2017年度	0	0	64	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	53	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	66	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-12	御領池河公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	建設から21年が経過している。									
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
・公園に遊具はありません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。										

1 3) 御領見持公園

① 施設概要

施設名	御領見持公園			供用開始年(西暦)	2000	No.	10-13	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	御領3丁目870			地区(中学校区)	南郷中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	工業地域			
土地合計面積	624㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-13	棟名	現況評価		
御領見持公園	公園全体	供用年数	21年	
		劣化状況	A 健全	-
			B 経過観察	-
			C 部分修繕が必要	-
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-13	棟名	評価結果		
御領見持公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	3	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-13	立地状況			
御領見持公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	-
			レッドゾーン	-
	避難所等指定状況		指定避難所	-
			福祉避難所	-
一時避難場所			-	
広域避難場所			-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-13	御領見持公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-13	御領見持公園	2017年度	0	0	64	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	53	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	67	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-13	御領見持公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	建設から21年が経過している。									
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
					再整備事業					
	----->									
・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。										

14) 御領みのり公園

① 施設概要

施設名	御領みのり公園			供用開始年(西暦)	2001	No.	10-14	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	御領1丁目			地区(中学校区)	南郷中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	準工業地域			
土地合計面積	4,193㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定1.0~2.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-14	棟名	現況評価		
御領みのり公園	公園全体	供用年数	20年	
		劣化状況	A 健全	-
			B 経過観察	-
			C 部分修繕が必要	-
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-14	棟名	評価結果		
御領みのり公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	3	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-14	立地状況			
御領みのり公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-14	御領みのり公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-14	御領みのり公園	2017年度	0	0	583	0	0	1,210	0	0
		2018年度	0	0	400	0	0	1,167	0	0
		2019年度	0	0	450	0	0	908	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-14	御領みのり公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	建設から20年が経過している。									
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	・せせらぎ施設の設置から20年経過しており、今後、対応方策の検討が必要です。									

15) 御領宮西公園

① 施設概要

施設名	御領宮西公園			供用開始年(西暦)	2000	No.	10-15	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	御領3丁目833			地区(中学校区)	南郷中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	準工業地域			
土地合計面積	1,189㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-15	棟名	現況評価		
御領宮西公園	公園全体	供用年数	21年	
		劣化状況	A 健全	-
			B 経過観察	-
			C 部分修繕が必要	-
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-15	棟名	評価結果		
御領宮西公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	3	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-15	立地状況			
御領宮西公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	－	
避難所等指定状況		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-15	御領宮西公園	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-15	御領宮西公園	2017年度	0	0	137	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	110	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	145	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-15		御領宮西公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B									
	建設から21年が経過している。										
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	・公園に遊具はありません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。										

16) 三箇第1公園

① 施設概要

施設名	三箇第1公園			供用開始年(西暦)	2012	No.	10-16	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	三箇6丁目444番			地区(中学校区)	谷川中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	2,602㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ	CB	1	6.30	2012	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-16	棟名	現況評価		
三箇第1公園	公園全体	供用年数	9年	
		劣化状況	A 健全	0/7
			B 経過観察	7/7
			C 部分修繕が必要	0/7
		バリアフリー	トイレ	-
	スロープ		-	
	エレベーター		-	
	トイレ	出入口自動ドア	-	
		築年数	9年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
C 深刻な不具合がある。			0/22	
バリアフリー	トイレ	対応済		
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-16	棟名	評価結果		
三箇第1公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	3.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	4	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
平均点	4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均		
建物性能ランク	A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）		

③ 施設の立地状況把握

10-16	立地状況			
三箇第1公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況	指定避難所	-		
	福祉避難所	-		
	一時避難場所	-		
	広域避難場所	-		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-16	三箇第1公園	-	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比

・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-16	三箇第1公園	2017年度	0	0	31	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	30	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	30	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-16	三箇第1公園										
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)				A		建物性能ランク(トイレ)				A
	建設から9年が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	・園内遊具の多くは大きな不具合は確認できません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。 ・園内トイレは、建物劣化状況として大きな不具合は確認できません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。										

17) 三箇第2公園

① 施設概要

施設名	三箇第2公園			供用開始年(西暦)	2009	No.	10-17	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	三箇4丁目541			地区(中学校区)	谷川中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	2,277㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ(和式)	S	1	4.00	2009	-	-	-	-
トイレ(多目的)	S	1	5.00	2016	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況	浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5m未満			
	土砂災害区域指定状況			無	-			
避難所等の指定有無	無			-				

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-17	棟名	現況評価		
三箇第2公園	公園全体	供用年数	12年	
		劣化状況	A 健全	1/9
			B 経過観察	8/9
			C 部分修繕が必要	0/9
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター 出入口自動ドア		-	
	トイレ(和式)	築年数	12年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
			B 軽微な不具合が散見される	0/22
			C 深刻な不具合がある。	0/22
		バリアフリー	トイレ	対応済
スロープ			-	
エレベーター 出入口自動ドア	-			
トイレ(多目的)	築年数	5年		
	劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22	
		B 軽微な不具合が散見される	0/22	
		C 深刻な不具合がある。	0/22	
	バリアフリー	トイレ	対応済	
		スロープ	-	
エレベーター 出入口自動ドア		-		

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-17	棟名	評価結果		
三箇第2公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点		3.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）
	トイレ (和式)	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	4	4点：対象項目すべて対応済 3点：(評価対象無し) 2点：(評価対象無し) 1点：対象項目すべて未対応
	平均点		4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）
	トイレ (多目的)	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
バリアフリー		4	4点：対象項目すべて対応済 3点：(評価対象無し) 2点：(評価対象無し) 1点：対象項目すべて未対応	
平均点		4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
建物性能ランク		A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	

③ 施設の立地状況把握

10-17	立地状況			
三箇第2公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-17	三箇第2公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-17	三箇第2公園	2017年度	0	0	65	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	66	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	57	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-17	三箇第2公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）	A				建物性能ランク（トイレ）	A			
	建設から12年（トイレ（和式）は12年、トイレ（多目的）は9年）が経過している。									
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
									和式トイレ 築20年 経過	
・園内トイレ（和式）は、2029年に築年後20年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。										

18) 三箇第3公園

① 施設概要

施設名	三箇第3公園			供用開始年(西暦)	1984	No.	10-18	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	三箇4丁目438			地区(中学校区)	谷川中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	2,394㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ	RC	1	10.00	2001	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-18	棟名	現況評価		
三箇第3公園	公園全体	供用年数	37年	
		劣化状況	A 健全	3/7
			B 経過観察	4/7
			C 部分修繕が必要	0/7
		バリアフリー	トイレ	-
	スロープ		-	
	エレベーター		-	
	出入口自動ドア	-		
	トイレ	築年数	20年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
C 深刻な不具合がある。			0/22	
バリアフリー		トイレ	対応済	
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-18	棟名	評価結果		
三箇第3公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点		2.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	4	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
平均点		3.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
建物性能ランク		A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	

③ 施設の立地状況把握

10-18	立地状況			
三箇第3公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン レッドゾーン	-
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-18	三箇第3公園	-	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-18	三箇第3公園	2017年度	0	0	139	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	93	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	118	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-18	三箇第3公園										
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)				B		建物性能ランク(トイレ)				A
	建設から37年が経過しているが、過年度に再整備事業を実施していることから、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。トイレは、建設から20年が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画 ※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	トイレ築20年経過										
	・園内トイレは、2021年に築年後20年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。										

19) 新田公園

① 施設概要

施設名	新田公園			供用開始年(西暦)	1966	No.	10-19	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	新田本町33			地区(中学校区)	諸福中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	1,978㎡			所有区分	土地	市	建物	
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ	RC	1	10.00	2002	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況	浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0~2.0m未満			
	土砂災害区域指定状況			無	-			
避難所等の指定有無	無	-						

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-19	棟名	現況評価		
新田公園	公園全体	供用年数	55年	
		劣化状況	A 健全	0/1
			B 経過観察	0/1
			C 部分修繕が必要	1/1
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	トイレ	出入口自動ドア	-	
		築年数	19年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
C 深刻な不具合がある。	0/22			
バリアフリー	トイレ	未対応		
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-19	棟名	評価結果		
新田公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
平均点	2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均		
建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）		

③ 施設の立地状況把握

10-19	立地状況			
新田公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況	指定避難所	-		
	福祉避難所	-		
	一時避難場所	-		
	広域避難場所	-		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-19	新田公園	-	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比

・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-19	新田公園	2017年度	0	0	129	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	99	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	143	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-19	新田公園										
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)				C		建物性能ランク(トイレ)				B
	建設から55年(トイレは19年)が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画 ※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	遊具更新 ----->	トイレ 築20年 経過				再整備事業					
<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 ・園内トイレは、2022年に築年後20年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。 ・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。 											

20) 新田中央公園

① 施設概要

施設名	新田中央公園			供用開始年(西暦)	1966	No.	10-20		
施設分類	公園			運営形態	直営				
所在地	新田中町123			地区(中学校区)	諸福中学校区				
所管部	街づくり部			所管課	みどり課				
都市計画区域	市街化区域			用途地域	工業地域				
土地合計面積	13,983㎡			所有区分	土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	14		他施設との合築	有無	無			
	うち車椅子	1			具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考	
トイレ	S	1	14.00	2019	対象外	-	-	-	
防災備蓄倉庫	S	3	1779.00	2020	対象外	-	-	-	
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況	浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5~1.0m未満				
	土砂災害区域指定状況			無	-				
避難所等の指定有無		有		一時避難場所					

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-20	棟名	現況評価		
新田中央公園	公園全体	供用年数	55年	
		劣化状況	A 健全	10/10
			B 経過観察	0/10
			C 部分修繕が必要	0/10
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	出入口自動ドア	-		
	トイレ	築年数	2年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
			B 軽微な不具合が散見される	0/22
			C 深刻な不具合がある。	0/22
		バリアフリー	トイレ	対応済
			スロープ	-
	エレベーター		-	
出入口自動ドア	-			
防災備蓄倉庫	築年数	1年		
	劣化状況	A 健全	-	
		B 経過観察	-	
		C 部分修繕が必要	-	
	バリアフリー	トイレ	対応済	
		スロープ	対応済	
エレベーター		-		
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-20	棟名	評価結果		
新田中央公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点		2.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	4	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
	平均点		4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）
	防災備蓄倉庫	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
バリアフリー		4	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目のうち、1項目のみ未対応 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目の中、2項目以上未対応	
平均点		4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
建物性能ランク		A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	

③ 施設の立地状況把握

10-20	立地状況			
新田中央公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	－	
避難所等指定状況		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	○	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-20	新田中央公園	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-20	新田中央公園	2017年度	0	0	113	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	14	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	243	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-20		新田中央公園										
建物性能の現況	建物性能ランク（公園全体）	B					建物性能ランク（トイレ）	A				
	建設から55年（トイレは2年）が経過しているが、過年度に再整備事業を実施していることから、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。											
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は増加傾向です。											
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030		
・建物劣化状況として大きな不具合は確認できません。災害時の指定避難所にも指定されていることから、今後も定期的な施設点検を実施するとともに、優先的に計画的な修繕等を行う必要があります。												

10-20		新田中央公園【防災備蓄倉庫】									
建物性能の現況	建物性能ランク	A									
	建設から1年が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は増加傾向です。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
・建物劣化状況として大きな不具合は確認できません。災害時の指定避難所にも指定されていることから、今後も定期的な施設点検を実施するとともに、優先的に計画的な修繕等を行う必要があります。											

21) 新田東公園

① 施設概要

		新田東公園		供用開始年 (西暦)	1973	No.	10-21	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	新田東本町790-1			地区 (中学校区)	諸福中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	1,423㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク (ハザードエリア立地有無) の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定1.0~2.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-21	棟名	現況評価		
新田東公園	公園全体	供用年数	48年	
		劣化状況	A 健全	0/5
			B 経過観察	0/5
			C 部分修繕が必要	5/5
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

10-21	棟名	評価結果		
新田東公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い (3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要 (2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要 (2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-21	立地状況			
新田東公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	－
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	－
			レッドゾーン	－
			指定避難所	－
			福祉避難所	－
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-21	新田東公園	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-21	新田東公園	2017年度	0	0	34	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	27	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	36	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-21	新田東公園									
建物性能の現況	建物性能ランク	C								
	建設から48年が経過している。									
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	遊具更新 ----->									
					再整備事業					
・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 ・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。										

22) 新田南公園

① 施設概要

施設名	新田南公園			供用開始年(西暦)	1966	No.	10-22	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	新田本町147			地区(中学校区)	諸福中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	準工業地域			
土地合計面積	1,977㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ	RC	1	8.40	2004	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-22	棟名	現況評価		
新田南公園	公園全体	供用年数	55年	
		劣化状況	A 健全	0/3
			B 経過観察	1/3
			C 部分修繕が必要	2/3
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
		出入口自動ドア	-	
	トイレ	築年数	17年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
C 深刻な不具合がある。			0/22	
バリアフリー		トイレ	未対応	
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
	出入口自動ドア	-		

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-22	棟名	評価結果		
新田南公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
平均点	2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均		
建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）		

③ 施設の立地状況把握

10-22	立地状況			
新田南公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況	指定避難所	-		
	福祉避難所	-		
	一時避難場所	-		
	広域避難場所	-		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-22	新田南公園	-	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比

・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-22	新田南公園	2017年度	0	0	82	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	70	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	86	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-22		新田南公園										
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)	C				建物性能ランク(トイレ)						B
	建設から55年(トイレは17年)が経過している。											
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。											
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030		
※大規模改修等検討目安：築20年、築40年	遊具更新			トイレ築20年経過	再整備事業							
※建替検討目安：築50年	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 ・園内トイレは、2024年に築年後20年を経過することため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。 ・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。 											

23) 末広公園

① 施設概要

施設名	末広公園			供用開始年(西暦)	2005	No.	10-23	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	末広町887-1			地区(中学校区)	住道中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種住居地域			
土地合計面積	13,631㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ	RC	1	17.04	2005	対象外	-	-	-
倉庫	RC	1	25.00	2013	対象外	-	-	-
ステージメント	S	-	128.00	2020	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況	浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5~1.0m未満			
	土砂災害区域指定状況			無	-			
避難所等の指定有無	有			一時避難場所				

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-23	棟名	現況評価		
未広公園	公園全体	供用年数	16年	
		劣化状況	A 健全	0/5
			B 経過観察	4/5
			C 部分修繕が必要	1/5
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	出入口自動ドア		-	
	トイレ	築年数	16年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
			B 軽微な不具合が散見される	0/22
			C 深刻な不具合がある。	0/22
		バリアフリー	トイレ	未対応
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	出入口自動ドア		-	
	倉庫	築年数	8年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
C 深刻な不具合がある。			0/22	
バリアフリー		トイレ	-	
		スロープ	-	
	エレベーター	-		
	出入口自動ドア	-		
ステージメント	築年数	1年		
	劣化状況	A 施設の使用に支障がない	10/10	
		B 軽微な不具合が散見される	0/10	
		C 深刻な不具合がある。	0/10	
	バリアフリー	トイレ	-	
		スロープ	-	
エレベーター		-		
出入口自動ドア		-		

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

10-23	棟名	評価結果		
未広公園	公園全体	評価項目	評価点	
		供用年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	2.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

10-23	棟名	評価結果		
未広公園	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：対象項目すべて対応済 3点：(評価対象無し) 2点：(評価対象無し) 1点：対象項目すべて未対応
		平均点	2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）
	倉庫	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
		平均点	4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）
	ステージン ト	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
劣化状況		4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する	
バリアフリー		-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応	
	平均点	4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	

③ 施設の立地状況把握

10-23	立地状況			
未広公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	-
			レッドゾーン	-
	避難所等指定状況		指定避難所	-
			福祉避難所	-
一時避難場所			○	
広域避難場所			-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標	単位	利用状況			備考
				2017年度	2018年度	2019年度	
10-23	未広公園	利用率	%	20 (1.00)	22 (1.10)	20 (0.91)	公園でのイベント回数

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-23	未広公園	2017年度	0	0	702	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	780	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	774	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-23		末広公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）	B				建物性能ランク（トイレ）	B				
	建設から16年が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は横ばいです。										
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	遊具更新 -----▶				トイレ 築20年 経過						
	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 ・園内トイレは、2025年に築年後20年を経過し、災害時の指定避難所にも指定されているため、施設劣化状況等を踏まえ、優先的に改修等の必要性を検討する必要があります。 										

24) 新町第3公園

① 施設概要

施設名	新町第3公園			供用開始年(西暦)	1996	No.	10-24	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	新町821-25			地区(中学校区)	住道中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種住居地域			
土地合計面積	691㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-24	棟名	現況評価		
新町第3公園	公園全体	供用年数	25年	
		劣化状況	A 健全	-
			B 経過観察	-
			C 部分修繕が必要	-
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-24	棟名	評価結果	
新町第3公園	公園全体	評価項目	評価点
		供用年数	3
		劣化状況	-
		バリアフリー	-
	平均点	3.00	評価の考え方
	建物性能ランク	B	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上 4点: ほとんどの遊具が健全 3点: 半数以上の遊具が経過観察 2点: 一部の遊具で部分修繕が必要 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当 4点: 対象項目すべて対応済 3点: 対象項目の中、1項目のみ未対応 2点: 対象項目の中、2項目未対応 1点: 対象項目の中、3項目以上未対応 築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均 A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

10-24	立地状況			
新町第3公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-24	新町第3公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-24	新町第3公園	2017年度	0	0	39	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	32	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	40	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-24		新町第3公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B									
		—									
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
・公園に遊具はありません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。											

25) 南の子公園

① 施設概要

施設名	南の子公園			供用開始年(西暦)	1966	No.	10-25	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	三住町389-2			地区(中学校区)	谷川中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種住居地域			
土地合計面積	1,015㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定1.0~2.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-25	棟名	現況評価		
南の子公園	公園全体	供用年数	55年	
		劣化状況	A 健全	3/8
			B 経過観察	5/8
			C 部分修繕が必要	0/8
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-25	棟名	評価結果		
南の子公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	2.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-25	立地状況			
南の子公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-25	南の子公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-25	南の子公園	2017年度	0	0	101	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	81	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	106	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-25	南の子公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）	B								
	建設から55年が経過している。									
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030

26) 大東公園

① 施設概要

施設名	大東公園			供用開始年(西暦)	1968	No.	10-26	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	谷川2丁目180番			地区(中学校区)	谷川中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	準工業地域			
土地合計面積	12,773㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ	RC	1	17.00	2003	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定1.0~2.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		有	一時避難場所					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-26	棟名	現況評価		
大東公園	公園全体	供用年数	53年	
		劣化状況	A 健全	0/5
			B 経過観察	1/5
			C 部分修繕が必要	4/5
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	トイレ	出入口自動ドア	-	
		築年数	18年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
C 深刻な不具合がある。	0/22			
バリアフリー	トイレ	未対応		
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-26	棟名	評価結果		
大東公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点		1.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		C	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
平均点		2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	

③ 施設の立地状況把握

10-26	立地状況			
大東公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	○	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-26	大東公園	利用率	%	42 (1.00)	41 (0.98)	49 (1.20)	公園施設予約システムでのグラウンド利用率

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-26	大東公園	2017年度	0	0	633	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	476	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	518	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-26	大東公園									
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)		C			建物性能ランク(トイレ)			B	
性質等に応じた状況	建設から53年(トイレは18年)が経過している。									
実施計画	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	遊具更新 →		トイレ 築20年 経過	再整備事業 →						
	<ul style="list-style-type: none"> 遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 園内トイレは、2023年に築年後20年を経過し、災害時の指定避難所にも指定されているため、施設劣化状況等を踏まえ、優先的に改修等の必要性を検討する必要があります。 公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。 									

27) マウンドパーク谷川公園

① 施設概要

施設名	マウンドパーク谷川公園			供用開始年(西暦)	2004	No.	10-27	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	谷川二丁目82-97			地区(中学校区)	谷川中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種住居地域			
土地合計面積	821㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定1.0~2.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-27	棟名	現況評価		
マウンドパーク谷川公園	公園全体	供用年数	17年	
		劣化状況	A 健全	0/3
			B 経過観察	0/3
			C 部分修繕が必要	3/3
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-27	棟名	評価結果		
マウンドパーク谷川公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	3	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	2.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-27	立地状況			
マウンドパーク谷川公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン	-	
		レッドゾーン	-	
	避難所等指定状況	指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
一時避難場所		-		
広域避難場所		-		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-27	マウンドパーク谷川公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-27	マウンドパーク谷川公園	2017年度	0	0	57	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	50	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	59	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-27		マウンドパーク谷川公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B									
	建設から17年が経過している。										
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	遊具更新 ----->										
	・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。										

28) 津の辺公園

① 施設概要

施設名	津の辺公園			供用開始年(西暦)	1983	No.	10-28	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	津の辺町53-1			地区(中学校区)	深野中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	1,468㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		無	-			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-28	棟名	現況評価		
津の辺公園	公園全体	供用年数	38年	
		劣化状況	A 健全	0/7
			B 経過観察	4/7
			C 部分修繕が必要	3/7
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-28	棟名	評価結果		
津の辺公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	2	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-28	立地状況			
津の辺公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	-
			レッドゾーン	-
			指定避難所	-
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-28	津の辺公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-28	津の辺公園	2017年度	0	0	69	0	0	124	0	0
		2018年度	0	0	63	0	0	127	0	0
		2019年度	0	0	75	0	0	132	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-28	津の辺公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）		C							
	建設から38年が経過している。									
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	遊具更新 ----->									
	・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。									

29) 中垣内浜公園

① 施設概要

施設名	中垣内浜公園			供用開始年(西暦)	2017	No.	10-29	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	中垣内四丁目4番			地区(中学校区)	四条中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種住居地域			
土地合計面積	15,000㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	22	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	1		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ	S	1	14.00	2020	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況	浸水想定区域指定状況			無	-			
	土砂災害区域指定状況			無	-			
避難所等の指定有無	有	一時避難場所						

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-29	棟名	現況評価		
中垣内浜公園	公園全体	供用年数	4年	
		劣化状況	A 健全	22/22
			B 経過観察	0/22
			C 部分修繕が必要	0/22
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	トイレ	出入口自動ドア	-	
		築年数	1年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
バリアフリー	C 深刻な不具合がある。	0/22		
	トイレ	対応済		
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
	出入口自動ドア	-		

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-29	棟名	評価結果		
中垣内浜公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	4	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
平均点	4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均		
建物性能ランク	A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）		

③ 施設の立地状況把握

10-29	立地状況			
中垣内浜公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況	指定避難所	-		
	福祉避難所	-		
	一時避難場所	○		
	広域避難場所	-		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-29	中垣内浜公園	利用率	%	50 (1.00)	53 (1.06)	58 (1.09)	公園施設予約システムでの グラウンド利用率

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出						
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)	
10-29	中垣内浜公園	2017年度	0	0	202	0	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	252	0	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	349	0	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-29	中垣内浜公園										
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)				A		建物性能ランク(トイレ)				A
	建設から4年(トイレは1年)が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は増加傾向です。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
・劣化状況として大きな不具合は確認できません。災害時の指定避難所にも指定されていることから、今後も定期的な施設点検を実施するとともに、優先的に計画的な修繕等を行う必要があります。											

30) 西諸福公園

① 施設概要

施設名	西諸福公園			供用開始年(西暦)	1984	No.	10-30	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	諸福七丁目1番			地区(中学校区)	諸福中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	準工業地域			
土地合計面積	839㎡			所有区分	土地	国	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-30	棟名	現況評価		
西諸福公園	公園全体	供用年数	37年	
		劣化状況	A 健全	0/2
			B 経過観察	2/2
			C 部分修繕が必要	0/2
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-30	棟名	評価結果		
西諸福公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	2	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	2.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-30	立地状況			
西諸福公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	-
			レッドゾーン	-
			指定避難所	-
			福祉避難所	-
			一時避難場所	-
			広域避難場所	-

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-30	西諸福公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-30	西諸福公園	2017年度	0	0	23	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	23	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	23	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-30	西諸福公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	建設から37年が経過している。									
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030

31) 野崎中公園

① 施設概要

施設名	野崎中公園			供用開始年(西暦)	1969	No.	10-31	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	野崎一丁目254-4			地区(中学校区)	四条中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	1,777㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ	S	1	14.00	2019	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-31	棟名	現況評価		
野崎中公園	公園全体	供用年数	52年	
		劣化状況	A 健全	9/9
			B 経過観察	0/9
			C 部分修繕が必要	0/9
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	トイレ	出入口自動ドア	-	
		築年数	2年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
バリアフリー	C 深刻な不具合がある。	0/22		
	トイレ	対応済		
	スロープ	対応済		
	エレベーター	-		
	出入口自動ドア	-		

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-31	棟名	評価結果		
野崎中公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	2.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	4	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目のうち、1項目のみ未対応 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目の中、2項目以上未対応
平均点	4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均		
建物性能ランク	A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）		

③ 施設の立地状況把握

10-31	立地状況			
野崎中公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況	指定避難所	-		
	福祉避難所	-		
	一時避難場所	-		
	広域避難場所	-		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-31	野崎中公園	-	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比

・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-31	野崎中公園	2017年度	0	0	127	0	0	593	0	0
		2018年度	0	0	68	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	70	0	0	529	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-31		野崎中公園									
建物性能の現況	建物性能ランク	B									
	建設から52年（トイレは2年）が経過しているが、過年度に再整備事業を実施していることから、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。										
性質等に応じた状況											
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	

3 2) 野崎南公園

① 施設概要

施設名	野崎南公園			供用開始年(西暦)	1970	No.	10-32	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	野崎1丁目405			地区(中学校区)	四条中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	984㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定1.0~2.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-32	棟名	現況評価		
野崎南公園	公園全体	供用年数	51年	
		劣化状況	A 健全	0/4
			B 経過観察	1/4
			C 部分修繕が必要	3/4
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-32	棟名	評価結果		
野崎南公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-32	立地状況			
野崎南公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	-
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	-
			レッドゾーン	-
			指定避難所	-
			福祉避難所	-
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-32	野崎南公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-32	野崎南公園	2017年度	0	0	124	0	0	592	0	0
		2018年度	0	0	99	0	0	583	0	0
		2019年度	0	0	128	0	0	529	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-32		野崎南公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）	C									
	建設から51年が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	遊具更新 ----->										
	・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。										

33) 灰塚公園

① 施設概要

施設名	灰塚公園			供用開始年(西暦)	1970	No.	10-33	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	灰塚5丁目355-1			地区(中学校区)	大東中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	6,533㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ	RC	1	15.64	2011	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-33	棟名	現況評価		
灰塚公園	公園全体	供用年数	51年	
		劣化状況	A 健全	0/9
			B 経過観察	9/9
			C 部分修繕が必要	0/9
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	トイレ	出入口自動ドア	-	
		築年数	10年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
バリアフリー	C 深刻な不具合がある。	0/22		
	トイレ	未対応		
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
	出入口自動ドア	-		

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-33	棟名	評価結果		
灰塚公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	2.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均		
建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）		

③ 施設の立地状況把握

10-33	立地状況			
灰塚公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況	指定避難所	-		
	福祉避難所	-		
	一時避難場所	-		
	広域避難場所	-		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-33	灰塚公園	-	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出						
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)	
10-33	灰塚公園	2017年度	0	0	59	0	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	58	0	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	64	0	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-33	灰塚公園										
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)				B		建物性能ランク(トイレ)				B
	建設から51年(トイレは10年)が経過しているが、過年度に再整備事業を実施していることから、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
・園内遊具の多くは大きな不具合は確認できません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。 ・園内トイレは、劣化状況として大きな不具合は確認できません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。											

34) 東諸福公園

① 施設概要

施設名	東諸福公園			供用開始年(西暦)	2006	No.	10-34	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	諸福一丁目地内			地区(中学校区)	諸福中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	19,755㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	有	市の他施設・他機能による複合化		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
管理棟(トイレ含む)	RC	1	209.00	2006	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		有	一時避難場所					

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-34	棟名	現況評価		
東諸福公園	公園全体	供用年数	15年	
		劣化状況	A 健全	2/13
			B 経過観察	11/13
			C 部分修繕が必要	0/13
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	管理棟(トイレ含む)	出入口自動ドア	-	
		築年数	15年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
C 深刻な不具合がある。			0/22	
バリアフリー	トイレ	未対応		
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
	出入口自動ドア	-		

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-34	棟名	評価結果		
東諸福公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点		3.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）
	管理棟（トイレ含む）	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
平均点		3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	

③ 施設の立地状況把握

10-34	立地状況			
東諸福公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
		2.0m以上	-	
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
イエローゾーン レッドゾーン		-		
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	○	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-34	東諸福公園	利用率	%	45 (1.00)	59 (1.31)	57 (0.97)	公園施設予約システムでの グラウンド利用率

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-34	東諸福公園	2017年度	0	0	147	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	160	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	231	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-34	東諸福公園										
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)				A		建物性能ランク(トイレ)				B
	建設から15年が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は増加傾向です。										
実施計画 ※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
						トイレ 築20年 経過					
・園内トイレは、2026年に築年後20年を経過し、災害時の指定避難所にも指定されているため、施設劣化状況等を踏まえ、優先的に改修等の必要性を検討する必要があります。											

35) 南郷公園

① 施設概要

施設名	南郷公園			供用開始年(西暦)	1999	No.	10-35	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	氷野四丁目177-3			地区(中学校区)	南郷中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	工業地域			
土地合計面積	18,000㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	有	市の他施設・他機能による複合化		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
管理棟(トイレ含む)	RC	1	311.00	1999	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		有	一時避難場所					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-35	棟名	現況評価		
南郷公園	公園全体	供用年数	22年	
		劣化状況	A 健全	0/10
			B 経過観察	6/10
			C 部分修繕が必要	4/10
		バリアフリー	トイレ	-
	スロープ		-	
	エレベーター		-	
	管理棟(トイレ含む)	出入口自動ドア	-	
		築年数	22年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
C 深刻な不具合がある。			0/22	
バリアフリー	トイレ	未対応		
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-35	棟名	評価結果		
南郷公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	2.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	
	管理棟（トイレ含む）	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
平均点	2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均		
建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）		

③ 施設の立地状況把握

10-35	立地状況			
南郷公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況	指定避難所	-		
	福祉避難所	-		
	一時避難場所	○		
	広域避難場所	-		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-35	南郷公園	利用率	%	44 (1.00)	67 (1.52)	69 (1.03)	公園施設予約システムでの グラウンド利用率

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-35	南郷公園	2017年度	0	0	1,653	0	0	1,815	0	0
		2018年度	0	0	1,400	0	0	1,750	0	0
		2019年度	0	0	1,583	0	0	1,513	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-35	南郷公園										
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)				B		建物性能ランク(トイレ)				B
	建設から22年が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画 ※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	トイレ 築22年 経過 遊具更新 -----▶										
・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 ・園内トイレは、2021年に築年後22年を経過することになり、災害時の指定避難所にも指定されているため、今後、優先的に修繕等の検討を行う必要があります。											

36) 氷野公園

① 施設概要

施設名	氷野公園			供用開始年(西暦)	1983	No.	10-36	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	大東町572-1			地区(中学校区)	南郷中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	1,130㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定1.0~2.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-36	棟名	現況評価		
氷野公園	公園全体	供用年数	38年	
		劣化状況	A 健全	0/2
			B 経過観察	2/2
			C 部分修繕が必要	0/2
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-36	棟名	評価結果		
氷野公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	2	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	2.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-36	立地状況			
氷野公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	-
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	-
			レッドゾーン	-
			指定避難所	-
			福祉避難所	-
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-36	氷野公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-36	氷野公園	2017年度	0	0	74	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	64	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	80	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-36	氷野公園									
建物性能の現況	建物性能ランク	B								
	建設から38年が経過しているが、過年度に再整備事業を実施していることから、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。									
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030

37) グリーンディパーク氷野

① 施設概要

施設名	グリーンディパーク氷野			供用開始年(西暦)	2002	No.	10-37	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	氷野3丁目36-41			地区(中学校区)	南郷中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種住居地域			
土地合計面積	1,062㎡			所有区分	土地	市	建物	
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-37	棟名	現況評価		
グリーンディパーク氷野	公園全体	供用年数	19年	
		劣化状況	A 健全	1/2
			B 経過観察	1/2
			C 部分修繕が必要	0/2
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-37	棟名	評価結果		
グリーンディパーク氷野	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	3	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点: ほとんどの遊具が健全 3点: 半数以上の遊具が経過観察 2点: 一部の遊具で部分修繕が必要 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点: 対象項目すべて対応済 3点: 対象項目の中、1項目のみ未対応 2点: 対象項目の中、2項目未対応 1点: 対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-37	立地状況			
グリーンディパーク氷野	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン	-	
避難所等指定状況		レッドゾーン	-	
		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-37	グリーンディパーク氷野	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-37	グリーンディパーク氷野	2017年度	0	0	23	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	23	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	56	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-37		グリーンディパーク氷野									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B									
	建設から19年が経過している。										
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は増加傾向です。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	

38) 大東中央公園

① 施設概要

施設名	大東中央公園			供用開始年(西暦)	2013	No.	10-38	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	深野一丁目・緑が丘一丁目 1 1 番～1 2 番			地区(中学校区)	谷川中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	38,462㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	19	他施設との合築	有無	有	市の他施設・他機能による複合化		
	うち車椅子	1		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
管理棟(トイレ含む)	RC	1	659.00	2013	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況	浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0～2.0m未満			
	土砂災害区域指定状況			無	-			
避難所等の指定有無	有			広域避難場所				

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-38	棟名	現況評価		
大東中央公園	公園全体	供用年数	8年	
		劣化状況	A 健全	22/22
			B 経過観察	0/22
			C 部分修繕が必要	0/22
		バリアフリー	トイレ	-
	スロープ		-	
	エレベーター		-	
	管理棟(トイレ含む)	出入口自動ドア	-	
		築年数	8年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
C 深刻な不具合がある。			0/22	
バリアフリー	トイレ	対応済		
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

10-38	棟名	評価結果		
大東中央公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	
	管理棟（トイレ含む）	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	4	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
平均点	4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均		
建物性能ランク	A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）		

③ 施設の立地状況把握

10-38	立地状況			
大東中央公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況	指定避難所	-		
	福祉避難所	-		
	一時避難場所	-		
	広域避難場所	○		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-38	大東中央公園	利用率	%	22 (1.00)	27 (1.23)	28 (1.04)	公園施設予約システムでのグラウンド利用率

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-38	大東中央公園	2017年度	0	0	333	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	400	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	350	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-38	大東中央公園【管理棟（トイレ含む）】									
建物性能の現況	建物性能ランク（公園全体）		A		建物性能ランク（管理棟）		A			
	建設から8年が経過している。									
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は増加傾向です。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	・劣化状況として大きな不具合は確認できません。災害時の指定避難所にも指定されていることから、今後も定期的な施設点検を実施するとともに、優先的に計画的な修繕等を行う必要があります。									

39) 壱の坪公園

① 施設概要

施設名	壱の坪公園			供用開始年(西暦)	1980	No.	10-39	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	北条4丁目1241-2			地区(中学校区)	北条中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	1,096㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		無	-			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-39	棟名	現況評価		
壱の坪公園	公園全体	供用年数	41年	
		劣化状況	A 健全	0/7
			B 経過観察	2/7
			C 部分修繕が必要	5/7
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-39	棟名	評価結果		
壱の坪公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	2	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-39	立地状況			
壱の坪公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-39	壱の坪公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-39	壱の坪公園	2017年度	0	0	39	0	0	124	0	0
		2018年度	0	0	35	0	0	127	0	0
		2019年度	0	0	43	0	0	132	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-39	吉の坪公園										
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）		C								
	建設から41年が経過している。										
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は増加傾向です。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	遊具更新 ----->										
					再整備事業						
<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 ・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。 											

40) 笠神公園

① 施設概要

施設名	笠神公園			供用開始年(西暦)	1974	No.	10-40	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	北条5丁目1589-2			地区(中学校区)	北条中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	1,136㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況	浸水想定区域指定状況			無	-			
	土砂災害区域指定状況			有	土砂災害イエローゾーン			
避難所等の指定有無	無	-						

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-40	棟名	現況評価		
笠神公園	公園全体	供用年数	47年	
		劣化状況	A 健全	0/9
			B 経過観察	2/9
			C 部分修繕が必要	7/9
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-40	棟名	評価結果		
笠神公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-40	立地状況			
笠神公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	-	
		イエローゾーン レッドゾーン	○ -	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-40	笠神公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-40	笠神公園	2017年度	0	0	49	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	40	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	49	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-40	笠神公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）		C							
	建設から47年が経過している。									
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	遊具更新 ----->									
					再整備事業 ----->					
<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 ・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。 										

4 1) 北条公園

① 施設概要

施設名	北条公園			供用開始年(西暦)	1969	No.	10-41	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	北条2丁目795			地区(中学校区)	北条中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	15,687㎡			所有区分	土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
トイレ	RC	1	34.10	2002	対象外	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		有	一時避難場所					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-41	棟名	現況評価		
北条公園	公園全体	供用年数	52年	
		劣化状況	A 健全	0/8
			B 経過観察	2/8
			C 部分修繕が必要	6/8
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
	エレベーター		-	
	トイレ	出入口自動ドア	-	
		築年数	19年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/22
B 軽微な不具合が散見される			0/22	
バリアフリー	C 深刻な不具合がある。	0/22		
	トイレ	未対応		
	スロープ	-		
	エレベーター	-		
	出入口自動ドア	-		

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-41	棟名	評価結果		
北条公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）	
	トイレ	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：全体にわたり不具合がみられる、又は一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：対象項目すべて対応済 3点：（評価対象無し） 2点：（評価対象無し） 1点：対象項目すべて未対応
平均点	2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均		
建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）		

③ 施設の立地状況把握

10-41	立地状況			
北条公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況	指定避難所	-		
	福祉避難所	-		
	一時避難場所	○		
	広域避難場所	-		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
		単位		2017年度	2018年度	2019年度	
10-41	北条公園	-	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比

・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-41	北条公園	2017年度	0	0	295	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	250	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	361	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-41		北条公園										
建物性能の現況	建物性能ランク(公園全体)	C					建物性能ランク(トイレ)					B
	建設から52年(トイレは19年)が経過している。											
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は増加傾向です。											
実施計画 ※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030		
	遊具更新 →	トイレ 築20年 経過				再整備事業						
<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 ・園内トイレは、2022年に築年後20年を経過し、災害時の指定避難所にも指定されているため、施設劣化状況等を踏まえ、優先的に改修等の必要性を検討する必要があります。 ・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。 												

4 2) 飯盛公園

① 施設概要

施設名	飯盛公園			供用開始年（西暦）	1983	No.	10-42	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	北条4丁目1866-1			地区（中学校区）	北条中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	3,157㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積（㎡）	建築年（西暦）	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域指定状況			無	-			
	土砂災害区域指定状況			有	土砂災害イエローゾーン			
避難所等の指定有無	無			-				

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-42	棟名	現況評価		
飯盛公園	公園全体	供用年数	38年	
		劣化状況	A 健全	0/7
			B 経過観察	7/7
			C 部分修繕が必要	0/7
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」（各所管課作成）参照

イ) 評価結果

10-42	棟名	評価結果		
飯盛公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	2.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）		

③ 施設の立地状況把握

10-42	立地状況			
飯盛公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	-	
		イエローゾーン レッドゾーン	○ -	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-42	飯盛公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-42	飯盛公園	2017年度	0	0	49	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	40	0	0	885	0	0
		2019年度	0	0	50	0	0	440	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-42	飯盛公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）		B							
	建設から38年が経過している。									
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
					再整備事業					
	----->									
	・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。									

4 3) 鎌池公園

① 施設概要

施設名	鎌池公園			供用開始年(西暦)	2020	No.	10-43	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	北条3丁目1900-1			地区(中学校区)	北条中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種住居地域			
土地合計面積	3,114㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5m未満			
		土砂災害区域指定状況		有	土砂災害イエローゾーン			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-43	棟名	現況評価		
鎌池公園	公園全体	供用年数	1年	
		劣化状況	A 健全	-
			B 経過観察	-
			C 部分修繕が必要	-
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-43	棟名	評価結果		
鎌池公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	4	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	A	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-43	立地状況			
鎌池公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	-
			イエローゾーン	○
			レッドゾーン	-
			指定避難所	-
			福祉避難所	-
			一時避難場所	-
			広域避難場所	-

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-43	鎌池公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-43	鎌池公園	2017年度	0	0	87	0	0	849	0	0
		2018年度	0	0	71	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	0	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-43	鎌池公園									
建物性能の現況	建物性能ランク（公園全体）		A							
	—									
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	・2020年に一部竣工しており、今後、定期的に施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。									

4 4) 嵯峨公園

① 施設概要

施設名	嵯峨公園			供用開始年(西暦)	1970	No.	10-44	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	北条3丁目1920			地区(中学校区)	北条中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	1,413㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況	浸水想定区域指定状況			無	-			
	土砂災害区域指定状況			有	土砂災害イエローゾーン			
避難所等の指定有無	無	-						

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-44	棟名	現況評価		
嵯峨公園	公園全体	供用年数	51年	
		劣化状況	A 健全	0/3
			B 経過観察	0/3
			C 部分修繕が必要	3/3
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-44	棟名	評価結果		
嵯峨公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	1	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点: ほとんどの遊具が健全 3点: 半数以上の遊具が経過観察 2点: 一部の遊具で部分修繕が必要 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点: 対象項目すべて対応済 3点: 対象項目の中、1項目のみ未対応 2点: 対象項目の中、2項目未対応 1点: 対象項目の中、3項目以上未対応
		平均点	1.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	C	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

10-44	立地状況			
嵯峨公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	-	
		イエローゾーン レッドゾーン	○ -	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-44	嵯峨公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-44	嵯峨公園	2017年度	0	0	64	0	0	848	0	0
		2018年度	0	0	53	0	0	885	0	0
		2019年度	0	0	66	0	0	440	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-44		嵯峨公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）	C									
	建設から51年が経過している。										
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	遊具更新 ----->										
					再整備事業						----->
<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。 ・公園施設等の老朽化等により対応が必要なため、再整備事業を行う予定です。 											

4 5) 朋来中央公園

① 施設概要

施設名	朋来中央公園			供用開始年(西暦)	2014	No.	10-45	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	朋来一丁目1-2の一部			地区(中学校区)	大東中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	13,037㎡			所有区分	土地	府	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	有	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		有	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-45	棟名	現況評価		
朋来中央公園	公園全体	供用年数	7年	
		劣化状況	A 健全	-
			B 経過観察	-
			C 部分修繕が必要	-
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
		出入口自動ドア	-	

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-45	棟名	評価結果		
朋来中央公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	4	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	4.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	A	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-45	立地状況			
朋来中央公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-45	朋来中央公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-45	朋来中央公園	2017年度	0	0	309	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	263	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	362	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-45		朋来中央公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	A									
	建設から7年が経過している。										
性質等に応じた状況	・維持管理・運営費は横ばいです。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
・公園に遊具はありません。。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。											

46) 朋来西公園

① 施設概要

施設名	朋来西公園			供用開始年(西暦)	1969	No.	10-46	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	朋来1丁目244-1			地区(中学校区)	大東中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	2,059㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-46	棟名	現況評価		
朋来西公園	公園全体	供用年数	52年	
		劣化状況	A 健全	0/5
			B 経過観察	1/5
			C 部分修繕が必要	4/5
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-46	棟名	評価結果	
朋来西公園	公園全体	評価項目	評価点
		供用年数	1
		劣化状況	1
		バリアフリー	-
	平均点	1.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク	C	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

10-46	立地状況			
朋来西公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	-
			レッドゾーン	-
			指定避難所	-
			福祉避難所	-
			一時避難場所	-
			広域避難場所	-

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-46	朋来西公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-46	朋来西公園	2017年度	0	0	61	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	48	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	58	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-46	朋来西公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）	C								
	建設から52年が経過している。									
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	遊具更新 ----->									
	・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。									

47) 朋来第1公園

① 施設概要

施設名	朋来第1公園			供用開始年(西暦)	1996	No.	10-47	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	朋来2丁目161-37			地区(中学校区)	大東中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	906㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-47	棟名	現況評価		
朋来第1公園	公園全体	供用年数	25年	
		劣化状況	A 健全	0/1
			B 経過観察	1/1
			C 部分修繕が必要	0/1
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

10-47	棟名	評価結果		
朋来第1公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	3	4点：ほとんどの遊具が健全 3点：半数以上の遊具が経過観察 2点：一部の遊具で部分修繕が必要 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点：対象項目すべて対応済 3点：対象項目の中、1項目のみ未対応 2点：対象項目の中、2項目未対応 1点：対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-47	立地状況			
朋来第1公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	-
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン レッドゾーン	-	
避難所等指定状況		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標	利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	
10-47	朋来第1公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料(土地)	その他負担金(共益費・積立金)
10-47	朋来第1公園	2017年度	0	0	13	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	13	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	14	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-47	朋来第1公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	建設から25年が経過している。									
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030

48) 朋来よつば公園

① 施設概要

施設名	朋来よつば公園			供用開始年(西暦)	2017	No.	10-48	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	朋来2丁目161-37			地区(中学校区)	大東中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積	502㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-48	棟名	現況評価		
朋来よつば公園	公園全体	供用年数	4年	
		劣化状況	A 健全	1/3
			B 経過観察	2/3
			C 部分修繕が必要	0/3
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-48	棟名	評価結果	
朋来よつば公園	公園全体	評価項目	評価点
		供用年数	4
		劣化状況	3
		バリアフリー	-
	平均点	3.50	
	建物性能ランク	A	評価の考え方 4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上 4点: ほとんどの遊具が健全 3点: 半数以上の遊具が経過観察 2点: 一部の遊具で部分修繕が必要 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当 4点: 対象項目すべて対応済 3点: 対象項目の中、1項目のみ未対応 2点: 対象項目の中、2項目未対応 1点: 対象項目の中、3項目以上未対応 A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

10-48	立地状況			
朋来よつば公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン	-	
避難所等指定状況		レッドゾーン	-	
		指定避難所	-	
		福祉避難所	-	
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-48	朋来よつば公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出						
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)	
10-48	朋来よつば公園	2017年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-48	朋来よつば公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク	A								
	建設から4年が経過している。									
性質等に応じ た状況	—									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030

49) 南新田公園

① 施設概要

施設名	南新田公園			供用開始年(西暦)	1980	No.	10-49	
施設分類	公園			運営形態	直営			
所在地	南新田1丁目440-14			地区(中学校区)	住道中学校区			
所管部	街づくり部			所管課	みどり課			
都市計画区域	市街化区域			用途地域	第一種中高層住居専用地域			
土地合計面積	1,318㎡			所有区分	土地	市	建物	-
来客駐車台数	来客用	0	他施設との合築	有無	無	-		
	うち車椅子	0		具体的内容	-			
棟名	構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況		浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5~1.0m未満			
		土砂災害区域指定状況		無	-			
避難所等の指定有無		無	-					

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

10-49	棟名	現況評価		
南新田公園	公園全体	供用年数	41年	
		劣化状況	A 健全	0/4
			B 経過観察	2/4
			C 部分修繕が必要	2/4
		バリアフリー	トイレ	-
スロープ	-			
エレベーター	-			
出入口自動ドア	-			

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

10-49	棟名	評価結果		
南新田公園	公園全体	評価項目	評価点	評価の考え方
		供用年数	2	4点:供用開始後15年以内 3点:供用開始後16年以上30年以内 2点:供用開始後31年以上45年以内 1点:供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点:ほとんどの遊具が健全 3点:半数以上の遊具が経過観察 2点:一部の遊具で部分修繕が必要 1点:3評価及び2評価のいずれにも該当。又は半数以上が2評価に該当
		バリアフリー	-	4点:対象項目すべて対応済 3点:対象項目の中、1項目のみ未対応 2点:対象項目の中、2項目未対応 1点:対象項目の中、3項目以上未対応
	平均点	1.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均	
	建物性能ランク	C	A:適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B:施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C:優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)	

③ 施設の立地状況把握

10-49	立地状況			
南新田公園	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	-
			0.5m未満	-
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	-
			2.0m以上	-
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	-
			レッドゾーン	-
			指定避難所	-
			福祉避難所	-
		一時避難場所	-	
		広域避難場所	-	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標 単位	利用状況			備考
			2017年度	2018年度	2019年度	
10-49	南新田公園	-	-	-	-	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤 = 前年より増加、青 = 前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト（維持管理費・運営費）及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
10-49	南新田公園	2017年度	0	0	13	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	18	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	29	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

10-49		南新田公園									
建物性能 の現況	建物性能ランク（公園全体）	C									
	建設から41年が経過している。										
性質等に応じ た状況	・維持管理・運営費は増加傾向です。										
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	遊具更新 -----▶										
・遊具点検結果により対応が必要なため、更新を行います。											

(4) 施設類型別の現況把握結果を踏まえた優先順位の考え方

対策の優先順位について、建物性能ランク及建物立地状況（ハザードエリア指定状況）から考えた場合、「公園」については、建物性能ランクが「C」ランクに該当する施設を優先的に今後の対策の必要性等について検討を進めるものとします。

表 各施設別の建物性能ランク及びハザードエリア指定状況のまとめ

建物性能ランク	ハザードエリア指定			
	区域指定なし	【浸水】2m未満及び【土砂災害】指定なし	【浸水】2m以上または【土砂災害】100ゾーン	【土砂災害】レッドゾーン
A	10-8.楠の里公園 10-29.中垣内浜公園（★） 10-29.中垣内浜公園（トイレ）（★）	10-16.三箇第1公園 10-16.三箇第1公園（トイレ） 10-17.三箇第2公園（トイレ（和式）） 10-17.三箇第2公園（トイレ（多目的）） 10-17.三箇第2公園 10-18.三箇第3公園（トイレ） 10-20.新田中央公園（トイレ）（★） 10-20.新田中央公園（防災備蓄倉庫）（★） 10-23.末広公園（倉庫）（★） 10-23.末広公園（ステージテント）（★） 10-31.野崎中公園（トイレ） 10-34.東諸福公園（★） 10-38.大東中央公園（★） 10-38.大東中央公園（管理棟（トイレ含む）） 10-45.朋来中央公園 10-48.朋来よつば公園	10-43.鎌池公園	
B		10-1.赤井公園（トイレ） 10-3.泉公園 10-3.泉公園（トイレ） 10-4.大野公園 10-10.御供田公園（トイレ）（★） 10-12.御領池河公園 10-13.御領見持公園 10-14.御領みのり公園 10-15.御領宮西公園 10-18.三箇第3公園	10-42.飯盛公園	

B		10-19.新田公園 (トイレ) 10-20.新田中央公園 (★) 10-22.新田南公園 (トイレ) 10-23.末広公園 (★) 10-23.末広公園 (トイレ) (★) 10-24.新町第3公園 10-25.南の子公園 10-26.大東公園 (トイレ) (★) 10-27.マウンドパーク谷川公園 10-30.西諸福公園 10-31.野崎中公園 10-33.灰塚公園 10-33.灰塚公園 (トイレ) 10-34.東諸福公園 (管理棟 (トイレ含む)) (★) 10-35.南郷公園 (★) 10-35.南郷公園 (管理棟 (トイレ含む)) (★) 10-36.氷野公園 10-37.グリーンデパーク氷野 10-41.北条公園 (トイレ) (★) 10-47.朋来第1公園		
C	10-2.明美の里公園 10-28.津の辺公園 10-39.沓の坪公園	10-1.赤井公園 10-5.川中新町西公園 10-6.川中新町東公園 10-7.川中新町南公園 10-9.西楠の里公園 10-10.御供田公園 (★) 10-11.御領公園 10-18.三箇第3公園 10-19.新田公園 10-21.新田東公園 10-22.新田南公園 10-26.大東公園 (★) 10-32.野崎南公園 10-41.北条公園 (★) 10-46.朋来西公園 10-49.南新田公園	10-40.笠神公園 10-44.嵯峨公園	

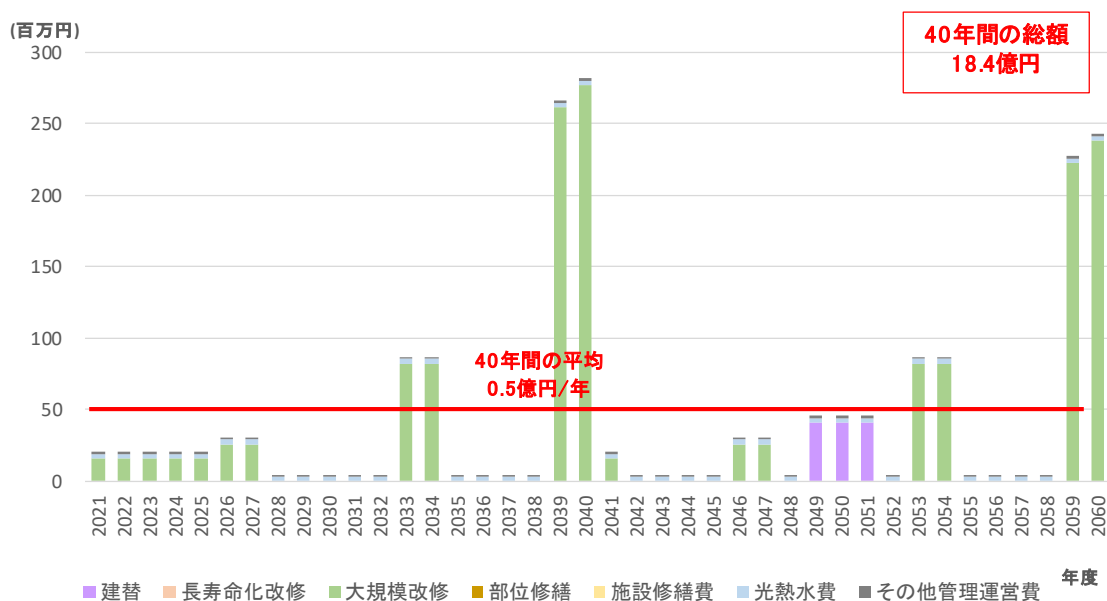
※ (★) は避難所等の指定あり

(5) 対策費用

公園の施設全体で、今後 10 年間で約 1.8 億円の建物維持・更新費（建築物の改修・更新費に加え光熱水費含むが、維持管理・運営費用は含まない。また、遊具の改修更新費用及び再整備事業の費用は含まない。）が見込まれます。

また、今後の 40 年間の費用総額として、約 18.4 億円（年間あたり約 0.5 億円）が見込まれますが、長寿命化対策を講じる場合には、約 18.0 億円（年間あたり約 0.4 億円）の費用が見込まれ、一定の削減効果が期待できます。

《現状趨勢ケース》



《長寿命化改修等対策ケース》

